

令和7年度 第8回梅坪台地域会議 会議録

■ 日 時 令和7年12月9日(火) 午後7時～午後8時45分

■ 場 所 梅坪台交流館 2階 大会議室

■ 出席者

<委員>	岩崎 洋平	岩松 初男	川井 圭子
	鈴木 重久	鎮西 和也	長江 秀昭
	三岡 英隆	山村 史子	依田 武人

<交流館> 杉山 浩子(梅坪台交流館 館長)

<事務局> 塚田 征弘(地域交流課 副課長)

槌井 功二(地域交流課 担当長) 勝野 一城(地域交流課 主査)

■ 内 容

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告・協議事項
 - (1) 地区コミュニティ会議関係について(報告)
 - (2) 地区区長会中間報告について(報告)
 - (3) 梅坪台地域会議提言書(案)について(協議)
 - ・提言書に対する意見聴取について(協議)
 - ・つなぐ会二次(案)について
 - (4) 今後のスケジュールについて
- 4 連絡事項

■ 議事内容(要約)

<主な意見>

(2) 地区区長会中間報告について(報告)

- ・意見、質疑なし

(3) 梅坪台地域会議提言書(案)について(協議)

○表紙について

- ・ZENT デジタルサイネージのPR映像の中から選んではどうか。
- ・ふれあいまつりで展示した、ペットボトルキャップによる「うめっぴー」の壁画の写真はどうか。

○委員名簿について

- ・名簿の民生委員欄に梅坪台地区の記載がないため、追加してほしい。
→ 確認のうえ訂正する。

○地域の概要について

- ・梅坪町が最初に区画整理を開始しているため、時系列で整理したほうがよい。
→ 2つの区画整理があるため、確認して修正する。
- ・「梅坪台地域の現状と課題」について、「世相の反映」という表現は現在あまり使われな
ない。また、急に子ども会の話題に移るため、導入文を加えたほうがよい。
- ・梅坪台地域の特徴的な点があれば記載したほうがよい。

○行政に求める支援について

- ・公共施設使用料の減免について、ルールがあるので特別記載する必要性は低いのでは。
- ・交流館をはじめとした…を削り、市内の公共施設を幅広く対象としたほうがよい。

○基本理念について

- ・子どもの成長過程を表すような表現があるとよい。
- ・「子どもの笑顔」という表現はよい。
- ・「つながり」という言葉はキーワードであるため、どこかに盛り込んでほしい。
- ・「育みながら人と人とのつながりをつくる」という方向性が望ましい。
- ・「ゆるやかなかわり」という表現は、つながりを強制しない意味であり、参加できるときに参加してもらうという意図である。
- ・「未来への継承」という表現も良いが、やや硬い印象がある。

【スローガン案の採決】

- ・「子どもの笑顔が地域をつなぎ未来をひらくまち梅坪台」……2票
- ・「子どもの笑顔とともにつながりを未来に育む梅坪台」……0票
- ・「子どもの笑顔とともに人と人とのつながりを未来へ伝える梅坪台」……1票
- ・「子どもの笑顔とともに人と人とのつながりを育み未来へ伝える梅坪台」……6票
→ 最後の案を採用することに決定。

【学校運営委員会での話題共有】

以下の3点について報告があった。

① 敬老会への子どもの参加について

- ・地域によって敬老会の実施状況は異なるが、コロナ以前は子どもが歌を披露したり、ビン
ゴ景品を渡したりと、地域行事に参加していた。
- ・これまでは子ども会単位で参加していたが、子ども会に加入していない子もいるため、
「参加したい子が参加できる形」にできないかという意見があった。
- ・不法投棄パトロールなど、大人と子どもと一緒に地域活動を行う取組も検討されている。

② 子どもの地域での活躍の場づくりについて

- ・小学校校長より、新しい指導要領や文科省の方針により「地域と子どもを結びつける活
動」が求められているとの説明があった。
- ・地域イベントで子どもが活躍できる場を設けてほしいとの依頼が自治区長にあった。
- ・京町のクリスマス会では、雨で発表できなかつた太鼓演奏をその場で披露する機会があっ
た。
- ・巫女舞など、地域行事で子どもが活躍できる場を検討してほしいとの意見があった。

③ 近所で子どもを見守る関係づくりについて

- ・個人的意見だが、近所の人子どもを自然に見守る関係性が重要である。

- ・孫と庭で遊んでいた際、近所の方が孫の名前を呼んで声をかけてくれ、こうした関係が地域の活性化につながる。

【盆踊り大会の復活について】

- ・コロナ以前、梅坪小学校では4町合同の大規模な盆踊り大会を実施していた。
- ・アクシデントにより中止となり、その後コロナ禍も重なり開催されていない。
- ・幼稚園児から中学生まで参加し、売店やボランティアも含め地域全体の一大イベントであった。
- ・地域のつながりが深まり、子どもたちの思い出にもなるので復活してほしい。
- ・熱中症リスクや消防法・保健所の規制など、開催時期や方法の検討が必要である。
- ・うめつぼ広場実行委員会による交流館でこども夏まつりやクリスマスフェスタなど、つながりを生む取組を進めている。

【その他の協議事項】

- ・提言書の修正を事務局で行う。
 - ・入学を祝う会を「キッズスタートを祝う会の集い」として検討中であり、皆さんからもアイデアをいただきたい。
 - ・つなぐ会は、地域学校共働本部と地域会議と連携しながら、子ども会に影響を与えず相乗効果が得られる形で進めていく。
 - ・提言書の提出は、市長の予定に合わせて地域会議の日程を調整する。
 - ・梅坪台健康づくり事業について、今年度スタンプラリーの取組を行っている。景品としてうめっぴーのコットンバック、エコバックを用意した。来年度も継続実施の想定である。
 - ・スタンプカードの周知不足や、紙媒体の不便さについて課題がある。
- 年度当初からの周知や、行事スケジュールの配布など改善策を検討するほか、梅坪台交流館や関係機関と連携し、健康づくりの仕掛けづくりを進める。

■ 今後の予定

令和7年度 第9回梅坪台地域会議

1月13日（火）午後7時00分～ 梅坪台交流館